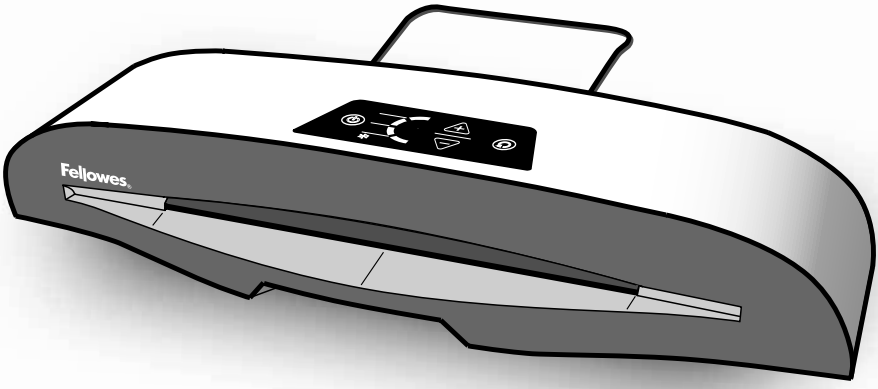
フェローズラミネーター

Calibre™ A3



取扱説明書・保証書

コクヨ株式会社
〒537-8686
大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
TEL 0120-220-594
https://kokuyo.co.jp

目　次

目次 1

使用上の注意 2

はじめに 4

本機の特長 4

内容物の確認 5

ラミネートの前に… 6

ラミネート作業上の注意 6

ラミネートフィルムについて 7

各部の名称と働き 8

ご使用方法（ホットラミネート） 9

ご使用方法（コールドラミネート） 12

お手入れの方法 15

こんなときは… 16

製品仕様 18

保証書 19

使用上の注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

警　告

お子様だけでの使用、幼児の手の届くところでの作業はしないでください。
※怪我、感電の恐れがあります。

マシン本体の上面及びラミネート直後のフィルムは、高温になっていますので十分に注意してください。
※高温のためやけどをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。怪我をする原因になる恐れがあります。もし引き込まれたときは、ただちにリバースボタンを押してください。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬ怪我をする恐れがあります。

電源コードを高温の表面に接触させないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

注　意

このマシンは用紙・印刷物・写真専用のラミネーターです。
ラミネート以外の目的には使用しないでください。

絶対に可燃物（セロファンなど）、軟化しやすい物（塩ビ、ポリエチレンなど）など、ラミネーター専用のフィルム以外は入れないでください。
※火災の恐れがあります。

ラミネーター操作中はそばを離れないでください。

紙幣・クレジットカード・金属・ビニール製品・布・木片などは、絶対にラミネートしないでください。

本機の上にものを載せたり、腰掛けたり、乗ったりしないでください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

このマシンは必ず平らなところに設置し、マシンの後ろ側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。

マシンや電源コード、コンセントなどに水がかからないように十分に注意してください。
※火災、感電の恐れがあります。

冷暖房機のそば、水のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

通常の操作以外に本機を清掃したり持ち運んだりする際には、必ず電源スイッチをオフにし、プラグを抜いてください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

電源プラグを抜くときは必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

電源コードを棚の上などから下げたままにしないでください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

電源コードは伸ばして使ってください。束ねたままで使うと加熱の原因になります。

電源は必ずAC100V電源を使用してください。また、電源プラグは壁のコンセントに直接つなぎ、延長コード等はご使用にならないでください。タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

このラミネーターは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

はじめに

このたびはフェローズラミネーター Calibre A3（カリブレ A3）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

Calibre A3 は、オフィスやご家庭で印刷物や写真を簡単にラミネートすることができるラミネーターです。

ご使用になる前には、必ず取扱説明書をよくお読みいただきますようお願い申しあげます。

また、本取扱説明書は必ず保管してください。

本機の特長

フィルム自動検知システム（PTS Plus）

フィルム詰まりを検知し、自動的にフィルムを手前に戻して排出します。

ホットスワップ

異なる厚みのフィルムを加工するときに、わずらわしい待機時間が不要。Hot Swap 機能により、フィルム厚に合わせた設定を瞬時に行います。

コールドラミネートも可能

熱で圧着する通常のラミネートと異なり、裏面に糊のついた専用のフィルムを使い常温で圧着する方法です。和紙、感熱紙、クレヨン画など熱により変色変質する紙などもラミネートできます。

リバースボタン搭載

フィルム自動検知システムでフィルム詰まりが解消されなかったとき、リバースボタンを押すことにより、手動でフィルムを手前に戻して排出することができます。

オートシャットオフ

電源をオンにしたまま約 30 分以上使用しないでいると、自動的に節電状態（スリープモード）になります。

ヒートガード ™

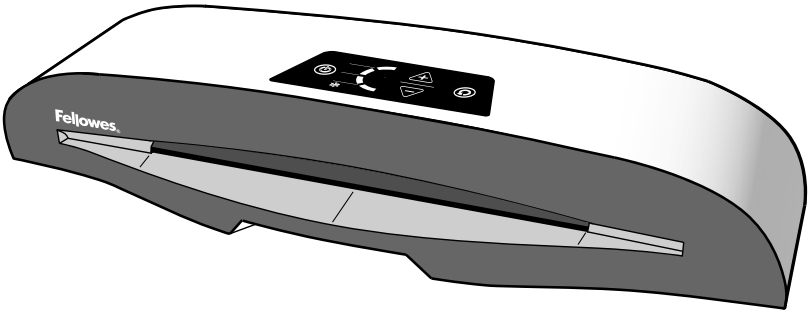
２重断熱層構造で本体の上部にふれたときの熱を低減しました。

※ラミネートした直後のフィルムは熱くなっていますので、充分ご注意ください。

内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品があることをご確認ください。

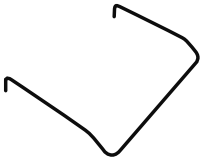
■本体



■取扱説明書（本書）

■スターターキット
（クリーニングシート同梱）

■サポートアーム



ラミネートの前に・・・

このラミネーターは平らな安定した場所で、電源ソケットのプラグの着脱が容易にできる場所に設置してください。
ラミネーターの後部はラミネートされたものを容易に排出できるように十分なスペース（50cm）をとって設置してください。
また、周辺には燃えやすいものを置かないでください。

ラミネート作業上の注意

ラミネーターは操作や使用法の誤りによりラミネートに失敗したり、フィルムを巻き込んで故障する場合があります。以下に書いてある注意事項をよくお読みの上、厳守してご使用ください。

ラミネートしてはいけないもの

● **ラミネートしてはいけないもの**

（×：ラミネートできません　○：ラミネートできます）

	ホットラミネート	コールドラミネート
金属・ビニール製品・布・木片など紙以外のもの、可燃物（セロハンなど）、軟化しやすいもの（塩ビ・ポリエチレン製品など）	×	×
和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙	×	○

● **たった一枚しかないような大切なものをラミネートすることはお避けください。**

万一失敗したり内部に詰まったりすると、元どおりに再生することができません。

● **資料や写真をはさまないフィルムだけのラミネートはしないでください。**

● **フィルムも含めて厚さ0.55mm より厚いものはラミネートできません。**

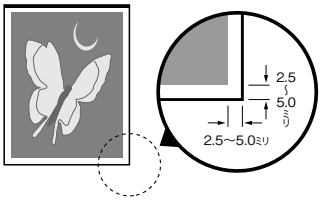
無理にラミネートしようとすると本体の内部機構を傷め、ローラーやヒーターなどが破損する場合があります。厚紙をラミネートするときはあらかじめ厚みを計測してください。

● **本機は厚さ 75 ～ 150 ミクロンのラミネートフィルムに適応しています。**

それ以外の厚さのフィルムではきれいにラミネートできません。また、故障の原因にもなります。

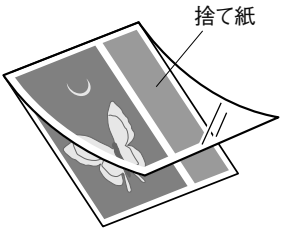
ラミネートフィルムについて

フェローズのラミネートフィルムを推奨いたします。フィルムの特性が合わないとフィルムにしわができたり、仕上がりが良くない場合があります。また、フィルム詰まりの原因となることがあります。



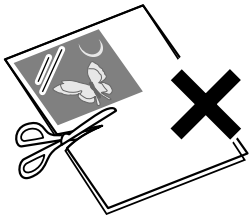
ラミネートするものより周囲が 2.5 ～ 5.0mm ほど大きなフィルムを使用してください。

この幅が小さいと周囲がうまく接着されず、その部分からはがれる原因になります。
また、大きすぎると巻き込みの原因になります。



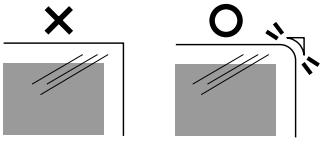
最適なフィルムがない場合は、大きめのフィルムを使用して、空白部分に捨て紙を入れてラミネートしてください。

ラミネートした後、ラミネートしたもののサイズに合わせてカットしてください。



ラミネートする前にフィルムをカットしたり、変形させたり継ぎ足したりしてお使いにならないでください。

内部のローラーに巻き付いたり内部で詰まって故障の原因になります。



ラミネートした後にフィルムをカットされた場合は、コーナーを丸めてください。

とがった角で怪我をする恐れがあります。

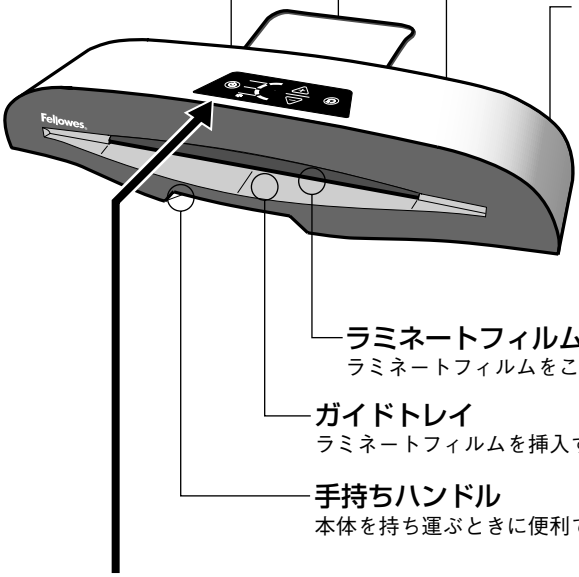
各部の名称と働き

サポートアーム
ラミネートされたフィルムをまっすぐに保ちます。

冷却用通風孔（背面）
本体を冷却します。
通風孔をふさがないでください。

ラミネート取り出し口（背面）
ラミネートされたフィルムがここから出てきます。

電源スイッチ（背面）
電源のオン／オフの操作を行います。



ラミネートフィルム挿入口
ラミネートフィルムをここから挿入します。

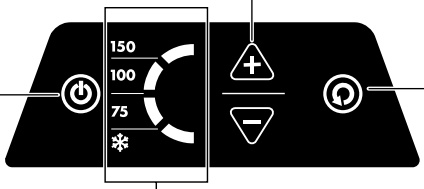
ガイドトレイ
ラミネートフィルムを挿入する時のガイドです。

手持ちハンドル
本体を持ち運ぶときに便利です。

〈LEDコントロールパネル〉

スタンバイボタン
このボタンを押すとラミネートの設定や作業が行えます。

ラミネートフィルム選択ボタン（+/−）（❄（コールド）、75、100、150 ミクロン）
ラミネートフィルムの厚さを選択します。
（選択後、選択されたフィルムの LED ランプが点滅し、ラミネート可能な状態になると点灯します。）



リバースボタン
内部のローラーを逆回転させるボタンです。詰まったフィルムを手動で取り出すときは、このボタンを押します。
※スタンバイモードのときは作動しません。

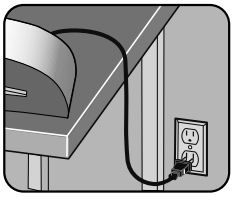
LED ランプ
設定するフィルムの厚さを示します。

⚠注意

- ホット／コールド、両方のラミネート作業を行う場合は、先にコールドラミネートを行い、その後でホットラミネートを行ってください。
- ホットラミネートの後、コールドラミネートを行う場合は電源スイッチを切った後、ラミネーターの熱を完全に冷ましてからにしてください。

ご使用方法（ホットラミネート）

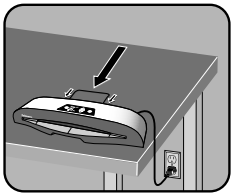
1



電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源スイッチが○の位置にあることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

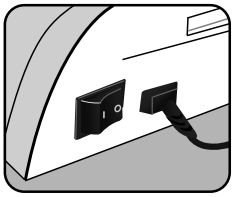
2



本体背面にサポートアームを取り付けます。

メモ
- サポートアームの先端を差し込み口にしっかりと差し込んでください。
- ラミネート取り出し口の妨げになっていないか確認してください。

3

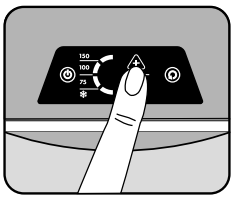


電源を入れます。

電源スイッチのＩ側を押します。

LED コントロールパネルが一瞬フラッシュして、75 ミクロンの LED ランプが赤く点滅します。

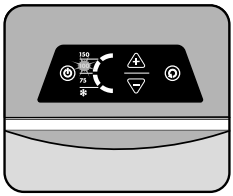
4



ホットラミネートのフィルムの厚さを選びます。

ラミネートフィルム選択ボタン（＋／－）を押して、使用するフィルムの厚さを選びます(75、100、150 ミクロン)。

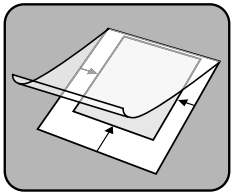
5



ラミネーターがウォームアップを開始します。

ウォームアップ中は、選択したフィルムの厚さの LED ランプが点滅します。ラミネート可能になると、選択したフィルムの厚さの LED ランプが点灯に変わります。

6

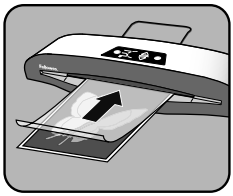


ラミネートするものをラミネートフィルムのシール部（接合部）の奥まできちんと入れて挟みます。

⚠注意

・接合部に余白があると、巻き込みなどの原因になりますので、奥まできちんと入れてください。

7



シールされた側から**挿入口に平行**に静かに差し込みます。

⚠注意

・ななめに入れるとフィルムがしわになったり、途中で詰まって故障の原因になります。
・フィルムのシール部（接合部）以外のところから挿入するとフィルムがめくれて内部で詰まったり、ローラーに巻きついて故障の原因になります。

メモ フィルムが詰まるとリバースボタンが点灯し、フィルム自動検知システムにより自動的にフィルムが手前から排出されます。それでもフィルム詰まりが解消されなかったときは、リバースボタンが点滅します。リバースボタンを押しながら、フィルムを取り出してください。

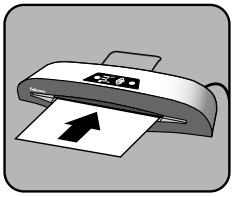
8

ラミネートが終了したフィルムを後部取り出し口より取り出し、平らな場所に置き冷まします。

⚠注意

- 途中で後ろから引っ張ったりしないてください。
- 続けてラミネートするときは、必ず前にラミネートしたものを取り出した後、次のラミネートフィルムを入れてください。
- フィルムが熱くなっていますので十分ご注意ください。

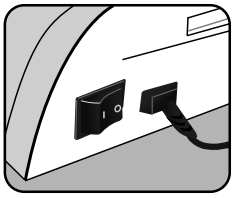
9



ローラーのクリーニングをします。

ラミネート作業が終了したら付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてローラーのクリーニングをします。（→ 15 ページ）

10



使用後はローラーを保護するため、スタンバイボタンを一度押し、ローラーが自動的に止まるまで空回しをしてください。その後必ず背面の電源スイッチをオフにしてください。

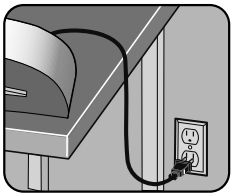
スタンバイボタンがゆっくり点滅し、しばらくはローラーが回転します。ラミネーターの熱が冷めると、ローラーは自動的に止まります。

オートシャットオフ

電源をオンにしたまま 30 分以上使用しないでいると、スリープモードになります。再び使用するにはスタンバイボタンを押してください。

ご使用方法（コールドラミネート）

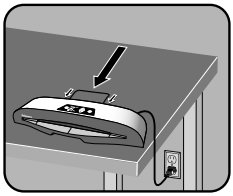
1



電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源スイッチが○の位置にあることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

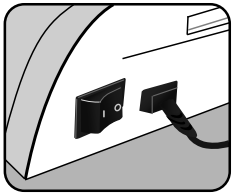
2



本体背面にサポートアームを取り付けます。

メモ
- サポートアームの先端を差し込み口にしっかりと差し込んでください。
- ラミネート取り出し口の妨げになっていないか確認してください。

3

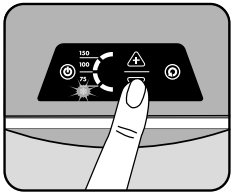


電源を入れます。

電源スイッチの I 側を押します。

LED コントロールパネルが一瞬フラッシュして、75 ミクロンの LED ランプが赤く点滅します。

4

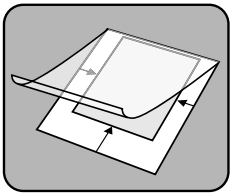


❄（コールド）を選びます。

ラミネートフィルム選択ボタン（＋／－）を押して、❄（コールド）を選びます。
❄（コールド）の LED ランプが青く点灯すれば、ラミネート可能です。

メモ ホットラミネートの直後は、❄（コールド）の LED ランプが点滅し、適切な内部温度になるまで 60 分～ 90 分かかります。

5



ラミネートするものをラミネートフィルムのシール部（接合部）の奥まできちんと入れて挟みます。

⚠注意

- 接合部に余白があると、巻き込みなどの原因になりますので、奥まできちんと入れてください。
- 必ずコールドラミネート専用のフィルムをお使いください。

6

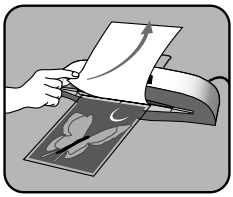
フィルムのシール部側から合紙をそっとはがしながら挿入口に差し込みます。

⚠注意

- ななめに入れるとフィルムがしわになったり、途中で詰まって故障の原因になります。
- フィルムのシール部（接合部）以外のところから挿入するとフィルムがめくれて内部で詰まったり、ローラーに巻きついて故障の原因になります。

メモ フィルムが詰まるとリバースボタンが点灯し、フィルム自動検知システムにより自動的にフィルムが手前から排出されます。それでもフィルム詰まりが解消されなかったときは、リバースボタンが点滅します。リバースボタンを押しながら、フィルムを取り出してください。

7



合紙はラミネート作業中に手で支えていると自然にはがれていきます。

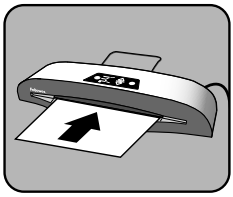
8

ラミネートが終了したフィルムを後部取り出し口より取り出します。

⚠注意

- 途中で後ろから引っ張ったりしないてください。
- 続けてラミネートするときは、必ず前にラミネートしたものを取り出した後、次のラミネートフィルムを入れてください。

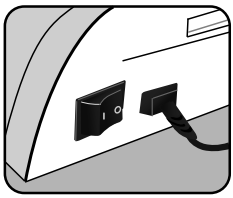
9



ローラーのクリーニングをします。

ラミネート作業が終了したら付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてローラーのクリーニングをします。（→ 15 ページ）

10



使用後は、スタンバイボタンを押し、その後必ず背面の電源スイッチをオフにしてください。

オートシャットオフ

電源をオンにしたまま 30 分以上使用しないでいると、スリープモードになります。再び使用するにはスタンバイボタンを押してください。

お手入れの方法

本体のお手入れ

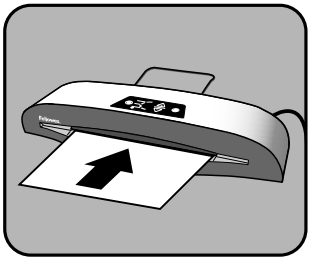
柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤を少量布につけて拭いてください。本体のお手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠ 注意

● シンナー、ベンジン、クレンザーなどは変形や傷の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

ローラーのお手入れ

ラミネーターは1枚ラミネートするごとに、フィルムの接着剤が内部のローラーに少量づつ付着して汚れてきます。毎回ラミネート作業終了後、電源を切る前に、ローラーのクリーニングをしてください。



付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてください。ローラーの汚れが紙に吸着されてクリーニングされます。
ラミネート作業を開始する前にも、このクリーニングを行うと、より効果的です。

こんなときは・・・

現象	原因	対処法
電源が入らない 動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。
	電源スイッチが入っていますか？	電源スイッチは、本機の背面にあります。電源スイッチのＩ側を押して操作を始めてください。
	オートシャットオフが働いていませんか？（このときスタンバイボタンがゆっくり点滅しています。）	本機を操作してから30分以上経過するとオートシャットオフが働き、スリープモードになります。このときはスタンバイボタンを押してから操作を始めてください。
フィルムが引き込まれない	LEDコントロールパネルが点灯していますか？	ホットラミネートご使用時は選択したフィルムの厚さのLEDランプが、コールドラミネートご使用時は❄（コールド）のLEDランプが点灯するまでお待ちください。
（ホットラミネートご使用時） 仕上がりが白っぽく曇っている	ラミネートの設定が低いようです。	コントロールパネルの＋ボタンを押して一段階上のフィルムの厚さに設定して試してください。
（ホットラミネートご使用時） 仕上がりが波をうっていたり、気泡が出ている	ラミネートの設定が高いようです。	コントロールパネルのーボタンを押して一段階下のフィルムの厚さに設定して試してください。
仕上がったフィルムが反る	ラミネートした直後のフィルムは柔らかくなっているので反ることがあります。ラミネート取り出し口にサポートアームを装着していますか？	ラミネート取り出し口にサポートアームを装着すると、よりきれいに仕上がります。 また排出されたフィルムはすぐに平らな場所に置いて冷ましてください。
ラミネートフィルムの表面が汚れる	ローラーが汚れています。	付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を使ってクリーニングしてください。

現象	原因	対処法
ラミネートフィルムがはがれる	ラミネートする紙が厚すぎます。	フィルムも含めて厚さが0.55mmより厚いものはラミネートできません。
	フィルムの大きさがあっていますか？	ラミネートするものより周囲が2.5～5.0mmほど大きなフィルムを使用してください。 （→7ページ）
	紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？	本機は紙専用のラミネーターです。プラスチック·金属·ビニール·布等はラミネートできません。
	特殊な紙をラミネートしていませんか？	紙にコーティング処理または油分が含まれている特殊紙はラミネートできません。
ラミネートフィルムが取り出し口から出てこない	フィルムがラミネーターの中に詰まっています。	フィルムが詰まるとリバースボタンが点灯し、フィルム自動検知システムにより自動的にフィルムが手前から排出されます。それでもフィルム詰まりが解消されなかったときは、リバースボタンが点滅します。リバースボタンを押しながら、フィルムを取り出してください。

これらの対処をしても問題が解決しないときは、主電源スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いた上で、コクヨ株式会社　フェローズ製品カスタマー窓口 https://kokuyo.jp/fellowes-support/ までご連絡ください。

製品仕様

品名	Calibre A3
品番	5740301
外寸法	W570×D155×H110mm
質量	2.5kg
挿入幅	325mm
消費電力	720W
電流	7.2A
電源	AC100V 50/60Hz
ウォームアップ時間	約1分
冷却時間	60～90分
ラミネート方式	ホットラミネート／コールドラミネート
加熱方式	外部加熱方式
温度設定	ホット3段階+ コールド
ローラー本数	2本
最大ラミネート厚	0.55mm
適用フィルム厚	75～150ミクロン
ラミネート速度	自動調整（最大48cm／分） 50Hz／60Hz共
対応最厚加工紙	250g/m^2
対応最薄加工紙	64g/m^2
オートシャットオフ	約30分無運転時
フィルム詰り対策	フィルム自動検知システム マニュアルリバース
保証期間	1年間